

テーマ説明

「18歳選挙権」

平成27年6月17日の公職選挙法改正に伴い、選挙権年齢がこれまでの「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げられ、来年夏に予定されている参議院議員通常選挙から適用される見込みです。

選挙権年齢の引き下げは、昭和20年に25歳から20歳になって以来ということで、じつに70年ぶりの大変革であり、これまで選挙権を有していなかった18歳以上の国民にも、政治参加の機会が広がり、日本全体では約240万人が、うち徳島県内では約1万3千人が新たに選挙権を得る見込みとなっております。

しかし、近年、我が国では、投票率の低下が大きな問題となっており、特に若い世代の投票率が著しく低い状況にあります。

選挙権を得て、まず最初に実施される選挙で投票をするかどうかで、その後の投票行動が決まってしまうとも言われる中、投票率の低下傾向に歯止めをかけるためには、新しく有権者となる若者のみなさんに、選挙は、私たち国民が政治に参加し、主権者として意思を反映させる最も重要な機会であり、民主政治の根幹となるものであることなどを十分に理解していただき、投票に足を運んでいただくことが重要となります。

今後18歳になろうとする若者の皆さんに、またそれ以外の若い世代の皆さんに、国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え、自ら判断し、行動していく主権者として、有権者が持つ1票の重みを理解し、積極的に投票に行こうとする気持ちになるような魅力的な動画をお待ちしています。

※参考資料

【総務省HP：選挙権年齢の引下げについて】

http://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/news/senkyo/senkyo_nenrei/

【総務省HP：高校生向け副教材「私たちが拓く日本の未来」について】

http://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/news/senkyo/senkyo_nenrei/01.html

【政府インターネットテレビ：「責任をもって、一票を！選挙権年齢が18歳以上に！」】

<http://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg12407.html>